

事務事業名		国体開催準備事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり				担当係	市民スポーツ係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 競技スポーツの推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	事業計画	期間限定複数年度	事業期間	27年度～34年度	根拠法令 条例等	国民体育大会開催基準要 項				
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事业		任意的事業	
		実施方法		直営		事業分類		参画事業		
		リーディングプロジェクト		該当		市長マニフェスト		3-14		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)					
○平成34年栃木国体にて本市で開催するラグビー、バレーボール競技、デモンストレーション競技開催に向けての準備 ○主な事務スケジュール H27 本市開催種目の決定、開催予定施設の決定 H28 開催種目先催市調査及び中央競技団体視察受入等 H29 市国体準備委員会設置準備(設立発起人会)の発足、施設整備の推進、開催年までの準備業務計画の作成、H30 市国体準備委員会の設置、施設整備の推進 H31～H33 市準備委員会→市実行委員会に改組 各専門委員会(競技式典、輸送交通、宿泊衛生、総務 企 画、常任委員会)と運動した関係機関との事務調整 国体県民運動と運動したPR活動 ①大会運営ボランティア募集、研修、配置 ②花いっぱい運動、クリーンアップ運動等の推進 ③学生ボランティアによる広報活動等 ○国体と併催される全国障害者スポーツ大会の調整もあり、		○中央競技団体正規視察 ①バレーボール 日時:11月8日(火) 視察先:アリーナためま体育館 日本バレーボール協会国内競技委員会国体部長他 ②ラグビー 日時:12月19日(月) 視察先:運動公園多目的球技場、陸上競技場他 日本ラグビー協会国体部門長他					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
佐野市準備委員会の事業費		千円			-	-	-
市国体準備委員会(各専門委員会を含む)会議の開催回数		回			-	-	-

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
	佐野市開催競技数	競技	-	1	2	2	2
	佐野市デモンストレーション開催競技数	競技	-	-	-	-	2

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

全国的大会等で好成績をあげる	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
	大会参加者数	人	-	-	-	-	-
	観戦者数	人	-	-	-	-	-

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

①技術、体力などの能力が向上している。 ②高度な指導力を身に着ける。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
	県大会で入賞した個人及び団体の数	組	-	240	260	256	270
	日本体育協会公認指導者数	人	-	283	291	293	330

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円								
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
	人件費	人	2	2	2	2	2			
	のべ業務時間	時間	300	300	400	800	1,000			
	人件費計(B)	千円	1,167	1,182	1,558	3,074	3,842			
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,167	1,182	1,558	3,074	3,842				

事務事業名	国体開催準備事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	市民スポーツ係
-------	----------	-----	---------	-----	-----------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成25年に平成34年栃木国体が内々定され、平成26～28年に各競技種目の会場地が選定された。本市においては、第1次選定においてH26にラグビーフットボール全種目、第2次選定においてH28に成年男子バレーボール会場として内定を受けた。また、開催準備にあたり、一連の国体事務を進めていく時期となっているため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	ラグビーワールドカップ、オリンピックが国体前にあり、その気運を国体につなげていこうという機運が高まっている。会場地市町村の役割として、会場地としての業務、競技会の実施運営に関する業務、競技会場及び練習会場の施設整備負担を行う必要がある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	ラグビーに関しては、民間の応援団体の支援活動があり、国体に向けた盛り上げが期待されている。国体の開催がスポーツツーリズム事業として期待されている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
目的再設定	中央競技団体の視察を受けた施設整備関連は、国体開催施設整備事業に引継ぐものとし、市を挙げて国体を受け入れる準備を具体的に始める段階となった。市を挙げて準備委員会(将来的に実行委員会)を立ち上げる準備を行う。
やり方改善(成果向上の見直し)	
やり方改善(コストの見直し)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 国体の開催は、競技スポーツの振興だけではなく、国のスポーツ大会として多くの競技者、大会関係者、観覧者が本市に訪れるなど、スポーツを軸としてたくさんの人が集まる事業になりえる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 県国体準備委員会が定めた県・市の業務分担・経費負担等の基本方針により、会場地市町村の役割が定められており、市町村が主体となって市民各団体等により準備(実行)委員会を組織し進めていくため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 市に在住する者、市内にある事業所や学校に通勤・通学するものを表彰対象にしており、本事業の目的に合致しているため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある	理由・改善案 国体開催に向けて、細かい準備段取りが想定されるが、先催市の例を参考にしながら創意工夫の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案 ハード事業とソフト事業で建設コンセプトの共有など連携は必須であるが、事務的には棲み分けしたい。
	*類似事務事業があれば、名称を記入	類似事務事業名	国体施設整備事業
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 現状では、必要な準備範囲が定まっておらず評価できない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案 受益者負担を求めない事業ではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
平成34年国体を開催し、終了後報告書を取りまとめ、佐野市実行委員会を解散して終了となる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	事業統合・連携	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	市を挙げて実施するイベントして盛り上げることができるか。市民団体、事業所も含め国体を盛り上げる意識が浸透するか。																							
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
			コスト																							
			削減	維持	増加																					
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下		×	×																						
市準備委員会(将来的には実行委員会)をいつ立ち上げるか、どのような年次計画で進めていくかを検討する。																										